

飛躍

HIYAKU

第306号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2012年1月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

あけましておめでとうございます

2012年が希望に満ちた年でありますように 総合グラウンド人工芝整備工事始まる



総合グラウンド人工芝イメージ写真(3月末完成予定)

自ら鍛えること



校長
黒坂 道生

新年あけましておめでとうございます。
2012年の年明けを、皆さんはどのような気持ちで迎えたでしょうか。皆さんは、この大きな節目の中で今年こそはと、新しい年の夢を描いたり、目標を立てていると思います。中等部と高校のそれぞれの学年・部活動と立場に応じた夢や目標を設定することは、その後の皆さんの成長に大変重要な役割を果たします。

中等部と高校の3年生は、卒業まであとわずかです。残された中等部と高校の締めくりやまとめ方が大変重要です。締めくりがよければ新たな高校と大学などでの学校生活も充実したもの

になるはずです。ぜひ、悔いを残さないようにして、最後の頑張りをを見せてほしいものです。

私の新年への思いは、まずは大震災などの自然災害が起きない平和で安全な年であってほしいと願う気持ちです。このような思いで新年を迎えたのは勿論はじめてで、平和で安全が当たり前のように思っていたところがあります。生徒を預かる学校の責任者としては、守るべきは生徒の命であり、さまざまなことを想定して、危機管理体制の確立に努めていかなければならないと考えています。

2011年度も残すところ3か月となりました。今年度の部活動面での活躍は、ダンス部の全国大会出場、吹奏楽部のミッドヨーロッパ国際青少年吹奏楽コンクール総合1位と全日本吹奏楽コ

ンクール銀賞受賞、高校2年の村山仁美さんの国民体育大会セーリング競技少年女子の4位、中等部吹奏楽部の東日本学校吹奏楽大会金賞という、輝かしいものでした。

学習面では、高校3年生の86%が東海大学に内定し、内52名が特別奨励入学、3名が特別技能推薦で決まり、東海大学希望者のほぼ全員が第一希望の学部・学科に進学することになりました。更に3年生のSSH課題研究の研究発表などがさまざまな場所で行われ、日本植物学会の「高校生研究ポスター発表会」で並木涼君と藤城翔太郎君の「タイリクバラタナゴのメスが好むオスの特徴」の研究が審査員特別賞を受賞し、千葉大学の「高校生理科研究発表会」で田代桜子さんと谷口光輝君の「熱気球」の研究が優秀賞を受賞、名古屋大学で行われた「プラズマ核融合学会高校生シンポジウム」で岩田昌也君、大江海斗君、山脇伶王君の「ペットボトルロケット」の研究の口頭発表で優秀賞、ポスター発表で奨励賞を受賞し、SSHクラスの生徒が大いに活躍しました。

11月30日に出たばかりの、『小澤征爾さんと、音楽について話

をする』は大変面白い本でした。この本は指揮者の小澤征爾氏と作家の村上春樹氏の対談集で、クラシック音楽にかなり造詣の深い村上春樹氏が小澤征爾氏のさまざまな音楽観を引き出していき、それを書き起こしたものです。40年以上の小澤征爾ファンの一としても初めて知った内容が多く、一気に読みきった魅力的な本でした。その中で、村上春樹氏自らが小澤征爾氏と次の三点で共通していると言っています。ひとつは、どちらもが、仕事をするにどこまでも純粋な喜びを感じていること。二つめは、今でも若い頃と同じハングリーな心を持ち続けていること。三つめは、頑固で、辛抱強く、タフで、自分がやろうと思ったことは、誰が何と言おうと、自分が思い描くようにしかやれないこと。

音楽界と文学界の最高峰の二人がそれぞれの世界でたくましく生きていくために、なによりも「自ら鍛えること」が重要であると言っています。これこそが、我々教員が生徒に指導すべき最も大切なことなのかもしれません。ぜひ、多くの生徒が自ら鍛え学習と部活動とを両立させ、闘志を燃やし、試練に耐え、忍耐力と自律心を養ってほしいと願っています。

生徒会新役員決まる

11月10日、生徒会役員選挙で次年度の役員が決定しました。今年は高校の役職すべてが信任投票でした。新役員の多くは新規の役員ですので、高輪台高校・中等部の活動がさらによくなるよう力を注いでくれると期待しています。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるように協力をしていきましょう。

中等部生徒会新役員

会長 2年 A組 天野恵理子

副会長 2年 B組 金子 萌香

副会長 1年 A組 大箭 望

会計 1年 B組 渡邊袖里菜

書記 2年 B組 野上 舞

高校生徒会新役員

会長 2年 8組 木内 一希

副会長 2年 4組 村上 来地

副会長 1年 9組 高祖 正成

会計 1年 9組 大塚 椋一

会計 1年 9組 鈴木 葵

書記 2年 6組 蓑田 勝大

書記 1年 2組 渡邊 陵太



後列左から 渡邊さん、野上さん
前列左から 金子さん、天野さん、大箭君



後列左から 鈴木君、大塚君、蓑田君、渡邊君
前列左から 村上君、木内君、高祖君



高校生徒会会長

木内 一希

2年8組 台東区立忍岡中学校出身

まず、生徒会選挙では信任していただきありがとうございました。皆さんの1票に込められた期待を胸に、頑張っていきたいと思います。

私は、前生徒会役員会で副会長を務め貴重な経験をしました。そこで学んだことを今年度に生かすことができたらいいなと思っています。今までは会長を支

えるという立場でしたが、これからは私が引っ張っていく立場なので、しっかりと生徒会役員会をとりまとめていきたいです。

生徒会活動については、昨年度も行った『エコキャップ活動』や『震災の募金活動』などさまざまな行事を引き続き行っていく予定です。よろしくお願いします。

最後に、高輪台高校がより良くなるには皆さんの協力と理解が必要不可欠です。学校を動かすには私たちだけの力ではどうにもなりません。「今年の生徒会役員会はずごかったな」と言ってもらえるような生徒会役員会が私たちの目指している生徒会役員会です。そのためにも、皆様のご協力をよろしくお願いします。



中部生徒会会長

天野恵理子

2年A組 品川区立大井第一小学校出身

この度、生徒会会長になりました2年A組の天野恵理子です。

私が生徒会長に立候補した理由は、誰かの役に立ちたいと思ったからです。今年は東日本大震災などもあり、誰かのために何かをするということの大切さを学びました。その時、私には何ができるのだろうと考えて思いついたのが

生徒会です。生徒会は日頃からみんなのためにさまざまなことを行っています。その中でも、私が特にやりたいことがあります。それは、エコキャップ活動と募金活動の強化です。エコキャップ活動では、たくさんの方がたが協力してくださっていますが、より多く集めるためにさらに回収箱を増やしていきたいです。募金活動では、前回、生徒会役員会の方がたが呼びかけをされていましたが、進んで募金をしている人は少なかったように思いました。ですので、今回はみんなにもっと被害を受けた方がたのことを伝えられるよう工夫をしたいです。微力ではありますが、皆さんをサポートできるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

生徒会旧役員のひとこと

中部生徒会旧役員

会長 3年B組 阿部 泰己

会長になった直後は部活動との両立ができるかどうか心配でした。だけど1年間頑張って何とか続けられました。新生徒会のみんには忙しさにめげずに、新しい企画や案をどんどん出してほしいです。

副会長 3年B組 河村 優希

私は2年間、生徒会役員会をやってきて、3年生になり、副会長という立場で、責任を持って活動することができました。次の生徒会役員会のみんには、引き継ぐところはちゃんと引き継ぎ、新しく始めることは、生徒のことを思っていて、頑張してほしいです。

会計 3年A組 吉越 隼

僕は生徒会役員会に入った当時、うまくやっていけるかどうか不安がいっぱいでした。しかし生徒会役員会のみんのおかげでこの1年間を無事に送ることができました。次の生徒会役員も、仲間と一緒に生徒会活動を頑張っていってほしいと思います。

書記 2年B組 滝沢 夏菜

私が生徒会役員会をやめて、もう1年やりたかったなと思いました。生徒会役員会では中部部の代表として、体育祭の種目決めや、学校説明会に参加するなど活動してきました。高校のように役はあってもそれとは関係なく過ごせるので、生徒会に入ってよかったなと思います。新役員の人たちに、頑張ってもらいたいです。

高校生徒会旧役員

会長 3年9組 山脇 怜王

2年目の生徒会はエコキャップ活動や学校行事、東日本大震災への募金活動などを通して、多くの人に支えられ大きく成長した1年間でした。部活動や委員会でも活躍する生徒、それを支える先生方、いろいろな人と接することは貴重な経験になりました。今年からは新生徒会へバトンを託し、より良い高輪台を築いてくれるように期待します。

会計 3年2組 曾田 旭

この1年、生徒会役員会でしかできない貴重な経験をたくさんさせていただきました。特に東日本大震災での募金活動は印象的で、予想以上に皆さんに協力してもらおうことができ、やりがいを感じました。1年間ありがとうございました。

会計 2年10組 長瀬 慶太郎

私は1年間、生徒会活動を行ってさまざまなことを学びました。例えば、計画を立てることの大切さ、自ら動くことの大切さなどです。もう、私たちの代も終わり、生徒会役員会を通して学んだことを次の代に伝えられたらと思います。

書記 2年10組 石黒 萌里

私が書記を務めさせていただいた1年間で、印象に残っているのは、東日本大震災募金です。1人では僅かなものも、生徒会で行うことで大きなものとなりました。私の代のみならず、次の代でも継続してほしいと思います。



生徒会旧役員の皆さん、おつかれ様でした。

中等部1学年だより

合唱祭挙行

例年、建学祭当日に実施している合唱祭が、今年度は吹奏楽部の東日本学校吹奏楽大会出場と重なったため、10月31日(月)に変更してとり行われました(吹奏楽部は初出場で金賞受賞)。

当日は、平日の午前という時間帯にもかかわらず、多くの保護者の方々に足を運んでいただきました。結果は先輩たちの大きな壁が立ちはだかって入賞こそ逃しましたが、合唱祭というひとつの学校行事を通して、クラスがひとつにまとめることができました。

なお、A組の曲は『With You Smile』(燕昇司天希君指揮、桑原千晶さん伴奏)、B組の曲は『この星に生まれて』(譽田隼平君指揮、浅野桃佳さん伴奏)でした。

初めての合唱祭

長田 庄一郎

1年A組 私立トキワ松学園小学校出身

僕たちは、6月頃から音楽の授業で毎回『With You Smile』を練習しました。10月になってからは、必死で練習しました。さらに、毎日放課後に練習をして頑張りました。

しかし、はじめはぜんぜん頑張っていない人もいました。それでも毎日毎日練習を重ねていくことで、一人ひとりの思いが変わっていった、だんだんと声が大きくなり、うまくなっていきました。

合唱祭当日、僕はアリーナでも声を通ると思っていましたが、実際は違いました。本番前に1回だけみんなで歌いました。全然声が出なかったです。その後、どんどん自信がなくなっていきました。「これでいいのだろうか」と思いました。そして本番、少しだけ緊張し

ました。必死で歌いました。今まで先生たちに指摘されてきたことをすべて出し切ったつもりでした。けれど、結果は4位でした。残念でしたが後悔はしませんでした。全力を出し切ったからです。

そのあと他のクラスの歌を聴きました。すごかったです。男子女子一丸となって必死に歌っていました。迫力もぜんぜん違いました。まず気合の入れ方が違いました。僕たちみたいに「入賞したらいいな」ではなく、「入賞する」としっかり覚悟を決めて歌っていました。

合唱祭を終えて感じたことはひとつだけでした——来年は絶対に入賞する。それしか思いませんでした。



クラス紹介した秋田康大君



伴奏者の桑原千晶さん



指揮者の燕昇司天希君を中心に

努力こそ大切

柴野 稜

1年B組 文京区立誠之小学校出身

僕は合唱祭を終えていろいろなことを感じました。その中で最も大きなことは、夏休み前に始めた練習から合唱祭当日までの間で、「努力する」ということはとても大切であるということです。6月に曲目を決めて、7月ごろから歌い始めた時に、最初はまったくやる気が出ず、口をちょっとしか開けられませんでした。先生方からのアドバイスを聞いているうちに、やる気が出てきて、10月にはしっかり大きな声で歌えるようになりました。この時、「努力」というのはなくてはならないものなのだと強く感じました。そし

て10月31日当日、ステージに立ってみると、観客数が実際以上にものすごく多く感じられて、とても緊張しました。緊張のせい、口があまり開かず、おまけに目もときどきそっぽを向いてしまったりしましたが、最後までしっかり歌うことができたのでよかったと思いました。2・3年生の先輩たちの歌はとてもきれいで圧倒されました。結果は入賞せず、とても悔しかったです。しかし、あきらめていては何も始まらないので、来年はしっかり歌えるように練習を重ねたいと思いました。



天野未来さんのクラス紹介



浅野桃佳さんの伴奏で



譽田隼平君の指揮で

中 等 部 2 学 年 だ よ り

☆ 日本科学未来館 ☆

後期中間試験終了2日後、12月2日に日本科学未来館を訪れました。ここでは、各自が興味を持ったことについて展示を見て回り、その後友達にその展示をプレゼンテーションしました。事前に学校でプレゼンテーションの方法を学習していた成果を発揮し、みんなの熱心に説明する姿がうかがえました。

日本の技術

笈川 智尋

2年A組 横浜市立新吉田第二小学校出身

私はこれまで日本科学未来館に行ったことがなかったので、とても楽しみでした。

日本科学未来館の中には、大きな地球のモデルのようなものがあり、そこには衛星写真のような映像が映し出されていました。地球はこんなにキレイなんだなあと驚きました。

私は「インターネット物理モデル」というブースに行きました。そこはインターネットや携帯電話で使うメールアドレスが、白や黒の光を並び替えることでできていて、それをとても速いスピードで行うことで記号や文字を表示しているという説明をしているものでした。その他にも、義手の方の脳にチップを埋め込むことで、目から入った情報が脳に伝わり、それをもとに義手を動かすことができるという技術を学びました。

私は、日本科学未来館に行って、このように多くの最新技術を学び、日本の技術はこんなに進歩しているのかと驚きました。今後も日本の技術について知ることができるといいなと思います。

宇宙を夢見て

平井 優香理

2年B組 中野区立谷戸小学校出身

私たち2年生は、日本科学未来館に行きました。日本科学未来館には、宇宙や人体、ロボットなどの展示がありました。

私は、もともと宇宙について興味があったので、最初はそれに関する展示場所へ見に行きました。そこにはスペースシャトルの模型があり、中は狭く、窓が少なく驚きました。

日本科学未来館には、外国からの見学者も多く、サイエンスコミュニケーターやボランティアの方々の方が英語で説明をしていて、とてもすごいなと思いました。また、私たちの質問にも答えてくださったので、いろいろなことがよくわかりました。

私は将来、宇宙飛行士になりたいと思っているので、今回の行事はとても役に立ちました。それに、シンボルゾーンにあった地球の模型を見て、自分の目で本物の地球を宇宙に行ってみてみたいなと思いました。宇宙飛行士になるために、日本科学未来館に展示されていることをしっかりと記憶しておきたいと思います。



簡潔にメモ



これ何だろう?



今日のメインのプレゼン



人の体はすごい!

中等部3学年だより

校外行事 ～文楽鑑賞～

12月2日、中等部3年生は校外行事として、国立劇場へ文楽鑑賞に行きました。今回初めて、文楽を観た人も多かったようで、日本の伝統文化に触れ、更に一步成長することができたかと思えます。2月には研修旅行でニュージーランドを訪れる予定になっています。今後も日本の文化を学び、ニュージーランドのホームステイ先で日本の話ができるようになってもらいたいと思います。

文楽を見て

伊藤 真穂

3年A組 千葉市立草野小学校出身

鑑賞する前は、文楽がどのようなものか全くわかりませんでした。人形の説明を聞いたとき、一体の人形に対して細かい仕掛けを3人で操作しているのに驚きました。仕掛けひとつで人形の表情が変わったり、女性の人形は足がないのに人形を操る人の腕を使い、足があるように見せていることにも驚きました。文楽において、人形を操る3人がお互いを信頼しているから息の合った動きができるのだとわかりました。私も今後の生活で、誰かと協力して取り組むときは、まず相手を信頼し、息を合わせることから始めるのが大切だと学びました。

見えない力

朱易 維禎

3年A組 世田谷区立八幡小学校出身

今回、僕は文楽を見るにあたってもちろん人形劇がメインなのでそこには集中していましたが、見ているうちに見えないところも見えた気がします。それは語り手と人形を操る人の息がものすごく合っていたということです。演者の人たちが、何か見えないテレパシーでつながっているのかなと思うほどでした。

このように演者の人たちの息が合っていたからこそ、メインの人形劇がいつそう美しく見えたのだと思います。今度文楽を見る機会があったら、もっと見えない力を感じて、文楽を深く理解できるまで堪能したいと思います。

気持ちと呼吸

伊東 慎一郎

3年B組 大田区立萩中小学校出身

僕は、初めて人形浄瑠璃を見て、語る人や三味線もすごいと思いましたが、一番興味を誘ったのは人形でした。なぜなら、人形を3人で操ることは、3人の気持ちと呼吸が合わさり成せる技で、人形が生きているように見えて驚いたからです。僕も一度人形に触れてみたいと思いました。

文楽とは、つまらなく、お年寄りの楽しみだと思っていましたが、中学生の僕が見ても意外と興味深いものであることがわかりました。日本の伝統的な人形浄瑠璃の楽しさを、他の国の人たちにも教えたいと思いました。

伝統の中の新鮮さ

阿部 泰己

3年B組 大田区立入新井第二小学校出身

文楽が文楽と呼ばれるようになったのは、明治の終わりごろだそうです。僕は人形浄瑠璃というものは前から知っていましたが、文楽という呼び名になる前の名前だというのは初めて知りました。

伝統芸能である文楽を見られる機会は、これから先もそうそうないと思います。人形を3人で操っているのを見るのも、イヤホンから劇の解説を聞いたのも初めてだったのですごく新鮮で、とても良い体験ができました。また国立劇場まで行って、文楽を見てみたいです。



国立劇場に初めて来ました!



伝統芸能の魅力を感じとれたかな?

高校1学年だより

あけましておめでとうございます。

今月号は学年主任の米谷先生をはじめ、学級担任、学年所属の先生方から2012年の抱負を載せます。生徒の皆さんも、しっかりした新年の目標を立ててみましょう！

人としてさらに成長できるようにする。

(学年主任 米谷 昭人)

毎日の生活を楽しむ。

(1組 学級担任 大澤 泉)

今年は2つの目標を掲げたいと思います。1つ目はTOEICで700点を取ること! 2つ目はマラソンの練習を再開し、ハーフマラソンを走ること!

(2組 学級担任 田中 正行)



マラソンに励む
田中正行先生

摂生に努め、健康に過ごす。

(3組 学級担任 中村 春樹)

毎日笑って過ごす!

(4組 学級担任 荒川 美緒)

健康維持

(5組 学級担任 益田 和美)

元気の良さと若さを大切に!

(6組 学級担任 田中 義隆)

自分の趣味(登山)に使う時間を増やす。本をもっと多く読んで、知識等を増やしたい。親孝行をする。

(7組 学級担任 金 恵潤)



高輪台に来てから早10年。いつまでも同じ場所においても自分が成長できないので、ここを離れる準備を始めます。

(8組 学級担任 野口 大輔)

ネイティブの先生たちとも楽しく話せるように、英語の勉強を頑張る!

(9組 学級担任 鈴木 康恵)

育児をもう少し頑張らないといけないかなと本気で思っています。「育児は育自」とも言いますので…。一番下の長女に比べ、意気地のない長男次男に闘魂注入!

(学年所属 宮嶋 孝一)

初心に戻って、教員を頑張る。卓球部東京都代表を目指す。

(学年所属 野崎 和夫)

晃昇龍、まだまだ青春! 龍が天上に昇る勢いで気合いで進む。

(学年所属 渡部 晃)

高校2学年だより

新年あけましておめでとうございます。皆さんは2012年の目標を、もう立てたでしょうか？ 今回は「2012年の抱負・目標」を2学年の先生方に書いてもらいました。今年も良い年になるよう頑張ってください！

高校2年生全員が^{つづが}恙なく進級でき、それぞれが第一希望の学部・学科に進学が決まり、最上級学年として 部活動などで最高の成績を残し、毎日健やかに学生生活を送り、楽しい思い出がたくさんできる1年であって欲しい。(学年主任 江口 淳二)

記録を付ける習慣がないので、新年はカメラの技術を磨き、クラスの生徒や家族の生き生きとした写真を飾るよう努力していきます。そのため新しい自分専用のカメラを購入してしまうかもしれません…。(1組学級担任 小松原 洋行)

①食生活の改善をはかる。特に、飲酒は適量! ②できるだけスタジアムに足を運んでサッカーを観戦する。
③2組の生徒の理解を深めたい。(2組学級担任 吉川 博人)

・身の回りの整頓を細目に行います! ・時間を大切にします! ・2013年の正月を気持ちよく迎えるために、適度な「運動」「食事」「睡眠」を心掛けます。(3組学級担任 稲葉 哲之介)

英語力アップ(英検&TOEIC。皆と一緒に頑張ります!)。女子力アップ(料理のレパートリーを増やす)。去年と一緒に…今年こそ、知性と品性に磨きをかけます。(4組学級担任 羽部 真美香)

来年は私にとって思い出深い1年になりそうです。悔いの残らなかった年というのは今まで記憶にありませんが、最大限の努力をし、最高の1年になるよう頑張りたいと思います。(5組学級担任 水落 健太)

「背中で語れる30代」を目指して、人生道に精進してまいります。(6組学級担任 今井 貴志)

①教室をキレイにする!(もちろん、ロッカーの中も整理整頓) ②クラス全員が希望進路へ行けるよう、今以上にピシバシやる!!(7組学級担任 山口 恵美子)

常に心に余裕を持ちながら、何事にも積極的に取り組みたいです。良いこともあれば、悪いこともある。そんな1年間を今年もまた、楽しみたいと思います。(8組学級担任 渡邊 聡)

2011年は怪我をしてしまったので、今年は十分に注意したいと思っています。また、楽しみも辛いことも体が健康でないと経験できないので、心身ともに元気でいられる体作りをしていきたいと思っています。(9組学級担任 島村 誠)

クラス…24名全員が希望する学部・学科に進学できるようにサポートする。部活動…みんなの技術が向上し、関東大会に出場できるように一緒に音楽を楽しむ。そのために健康的な毎日を過ごす。(10組学級担任 上松 未来)

私にとって人生の大きな節目となる2012年。第二の人生は好きなことに時間を気にせず没頭できたら、と思います。心に残る風景をカメラに記録しながら、気ままな旅がしたいですね。(学年所属 若井 牧夫)

子供たちの担任の先生から「忘れ物が多い」と言われ続けています。私の方が朝早く家を出てしまうので持ち物チェックができません。来年は「子供たちに忘れ物をさせない指導をする!」というのが私の目標です。(学年所属 田島 一代)

運動不足になってきたので、時間を見つけて運動をしたい。また、体調をしっかり管理し、元気に過ごせるようにしたい。(学年所属 加藤 新也)

学校においては数学やラグビー、その他さまざまな知識を深め、より良い指導ができることを目指します。それ以外では高輪台周辺のお店を回り、美味しいご飯やデザートを1つでも多く発掘することを頑張ります。(学年所属 岸井 祐貴)

高校3学年だより

高校3学年の高校生活も残すところあとわずかとなりました。今回は各クラスの級長(代表者)から、クラスを振り返っての一言をお届けします。

1組 増田 良

品川区立八潮学園中学校出身

2年間一緒だったこのクラスの良さは、明るい雰囲気でした。なかんずく野球部の人たちはとても面白く、平日頃からクラスのみんなを盛り上げて、授業を楽しくしてくれました。また、何人かの先生方から最後の授業が終わる際、クラス全体の雰囲気を褒めてくださり、多少騒がしかったこともいざ知らず、授業がしやすかったと言ってくださいました。このクラスと離れるのは少し寂しいですが、出会った仲間をこれからも大切にしたいです。

2組 伊藤 涼

荒川区立尾久八幡中学校出身

どうも、級長の伊藤です。正直、普段はこのクラスはまとまりがありません。情けないことです。でも、建学祭の時に、初めて団結した感がありました。やはり、団結して準備した“チヂミです”は成功しました。我々はやればできるのです。軽音楽部のライブで誰かが「終わりは始まりなわけである」と言っていました。その通りです。終わったと思ったらまた始まります。みんなの卒業は同時に夢へのスタートです。「夢はでっかく、根は深く！」

3組 大関 翔輝

北区立十条富士見中学校出身

時間を重ねるごとに変化していくクラス、それが3組でした。今振り返ってみると第2学年と第3学年の3組では、友人間での団結、協力、誰が見てもわかるほど変化してきたクラスでした。特に、協力では授業やテスト前に、勉強が得意な人が友達に教えて協力し、一生懸命取り組む姿勢が見られました。自分はこのような居心地が良く、一人ひとりの個性が強い、良いクラスで最後の1年が過ごせたことを誇りに思います。この先も3組は皆が良い仲間になれるクラスです。

4組 竹澤 浩史

横浜市立藤の木中学校出身

自分は級長として何もできませんでしたが、4組の皆さんと一緒に騒いだり、笑ったり、2年間本当に楽しく充実した高校生活を送ることができました。スポーツ大会や建学祭でクラスが一致団結し、優勝することができました。抱き合って喜ぶ人もいれば泣いている人もいました。こんな4組の1人でよかったです。これから先、何十年でも付き合っていきたいと思えます。先生やクラスのみんなに迷惑ばかりかけてきたけれど感謝しています。

5組 轟 万里絵

横浜市立境木中学校出身

高校2年のクラス替えであまり知り合いがいない5組に入り、はじめはとても不安でした。けれど、見る見るうちに仲良くなって、今では46人全員が学校生活を楽しんでいます。これは、一人ひとりが隣の人を気遣う“優しさ”のお陰だと思えます。このクラスで2年間授業を受け、さまざまな行事を行い、5組の絆は深まっています。残り少ない学校生活も全員でエンジョイしていきたいです。5組のみんな、Thank U!!!★

6組 藤巻 知央

横浜市立神奈川中学校出身

6組はいつも賑やかで、教室には笑顔が絶えないクラスです。そのため、先生方にはたくさん迷惑をかけてしまいました。騒がしくなってしまうのは仲が良すぎるからです。すみませんでした! 皆の仲が良かったので毎日学校が楽しかったです! 一番の思い出はスポーツ大会で、結果は男子バスケットボール準優勝、女子バスケットボール優勝でした。他にも楽しい思い出がたくさんありすぎて卒業するのは寂しいですが、また会える日を楽しみにこれからも頑張ります。6組大好き!!

7組 石川 望瑛

川崎市立今井中学校出身

2年生になって7組の皆に初めて会った時は、知らない人ばかりで、これからどんなクラスになっていくのだろうと不安になりつつも楽しみでした。行事では、勝ち負けというよりは楽しむことを大事にやってきたと思います。2年間このクラスの皆と毎日と一緒に過ごすことができ、本当によかったです。残りわずかになってきている高校生活も仲良くしていきたいです。Seize the day +7!!!!!!ですね。

8組 中川 翔太郎

目黒区立第四中学校出身

1年生でようやく慣れたクラスからまた新しいクラスに変わり、2年生の最初の頃はどのクラスに入ったらよいか分からず、授業と授業の間や昼食の時は元のクラスで集まるが多かったです。それでも学校行事などを重ねるうちに、徐々に8組としてまとまっていたように思いました。特に最後の建学祭とスポーツ大会はクラスがグッと1つになり、その甲斐あって本当に良い思い出が作れました。このクラスにいて良かったとみんなが思えるクラスだと思います。

9組 矢野 琢弥

横浜市立寺尾中学校出身

最初にクラスに足を踏み入れた時は、皆口数が少なく、この先うまくやっていけるかが心配でした。しかし、時間が経つにつれ緊張が解かれて、とても良い雰囲気になっていくのがわかり、安心しました。体育祭や文化祭といった行事の際にも一致団結し、皆心を1つにして頑張りました。問題が全くなかったわけではありませんでしたが、それ以上に良い面もあり、とても有意義な時間を過ごすことができたと思います。3年間、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

2011年度学校運営方針

アクティブボードを用いた組織的な授業改革の推進

教育の質を高める教育改革の一環として本校ではアクティブボードを全教室に導入しています。アクティブボードを利用したインタラクティブな授業が、生徒の意欲と好奇心を育み、可能性を開拓します。

環境改善とスキルの向上で新時代の教育システムを実現します。

教員が意欲的に取り組むことで授業や学校全体が進化します。

自主的な学習活動を促進し、発想力や想像力を育みます。

本校が目指す「全人教育」の、さらなる広がり可能性を追求します。

『書き方指導』を通して読むことと書くことに重点を置いた全学的な指導を日常的に行い、さまざまな学習や活動の基盤となるよう目に見える取り組みを行う。

中等部・高等学校の基礎学力の根幹をなす国語力を充実させます。

ここでいう国語力とは…

- ①主に日本語に関する理解・表現・態度を養うために、聞き・話し・読み・書く能力
- ②日本で生活する人々がこれからの社会で必要とし、生きる意欲を支える言葉の力
…つまり単に国語科としての国語力というのではなく、広く日本で生きていくうえで欠かせない言葉の力という意味での国語力である

すべての教科・科目で足並みを揃え取り組みます。

研修会等を継続して開き、全教員で実があがるように工夫して取り組みます。

松前重義記念基金 建学記念作文・小論文

2011年度松前重義記念基金建学記念小論文・作文の優秀作品に本校から諸橋恵さんの「社会の中で生きるとのこと～自分らしく～」が優秀作品に選ばれました。11月2日の建学記念式典で校長より建学記念奨学金の証書と奨学金として5万円分の図書券が授与されました。



諸橋 恵

3年2組 大田区立貝塚中学校出身

今回、建学記念小論文コンテストで優秀賞をいただくことができ、とてもうれしかったです。コンテストの話を知ったときは、自分にそんなに長い文章を書くことができるのかな、と不安でしたが、実際に書き始めてみたら、参考文献を読んだり、自分の意見を広げていったりすることが楽しくなり、最初に感じた不安もなくなりました。このコンテストで受賞できたのは、自分1人だけの力ではないと思いま

す。小論文の書き方や、本の紹介など、たくさんのアドバイスをいただいた数馬先生や、夏休み中に指導していただいた塾の先生、そしてそれを応援してくれた家族がいてくれたから、この賞をもらうことができました。先生や家族には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、このコンテストを通して、本を読むことが今まで以上に好きになれたので、奨学金の図書カードでたくさん本を買いたいと思います!!

SSH活動報告

1年SSHクラスでは「科学英語プレゼンテーション」という授業があります。月1回のこの授業では、科学分野でのプレゼンテーションの仕方を複数の先生方から学んでいます。夏休みの科学体験旅行で得た知識、感動を伝えるため、Gary先生、Sachiyo先生夫妻をお招きし、身体全体を使ったプレゼンテーションを学びました。

3年では、国際交流を目的としたプログラムがあり、英語で発表する機会があります。今年も多くのプログラムに生徒が参加しました。1年で習った「科学英語プレゼンテーション」が役に立ったようです。

Gary先生の授業

鎌苅 翔馬

1年9組 世田谷区立船橋中学校出身

私がSSHの活動で楽しみだったことの1つがGary先生の授業でした。Gary先生の授業は、私の期待以上でした。何よりも魅力的だったのはGary先生の自己紹介の方法でした。趣味はフラメンコだと言って、近くにいる生徒も巻き込みながら踊っていました。先生の授業は、教室を歩き回り全員とアイコンタクトをし、言葉だけではなくジェスチャーを使いながらやります。また、魅力的なプレゼンテーションをするための技術やaudienceを飽きさせない方法も、言葉だけで説明するのではなく、みんなでリズムに乗せて動きながら、そして楽しみながら練習しました。プレゼンテーションは、口だけでなく体全体でやるものなのだと実感しました。

中学1年の時、ジュニアロボット競技会の全国大会でリサーチ・チーム・テクニカルの3種類のプレゼンテーションをしたことがあります。今思うとその時は、一方的に伝えるだけのプレゼンテーションだったと思います。しかしGary先生の授業を通して、audienceを楽しませ、自分自身も楽しむことが大事だと思いました。プレゼンテーションへの苦手意識がなくなり、英語への興味も深めることができました。今後、英語で発表する機会があれば、ぜひチャレンジしたいです。

今年度に参加した海外交流・英語で発表したプログラム(12月現在)

- Korea Science Academy of KAISTの生徒との研修・交流(7月)
- International Students Science Fair in Thailand(10月)
- 立命館SSFair(10月)
- Science Education Exchange Symposium 2011(12月)
- 東海大学総合理工学中間発表会(12月)



ギャリー先生による授業

TOKAI キャンパスメッセージ

精密工学の医療関連技術への展開 ～医療検査ロボットの開発～

東海大学工学部精密工学科 准教授 穂谷 和義

病気は薬で治しますが、それで治らなければ手術が必要です。手術は痛みを伴うため、長期の入院を余儀なくされます。もし、人が直接作業できない生体内に、医療検査ロボットを常駐し、常時生体内を監視できれば、病気の治癒が自動で行われたりできます。

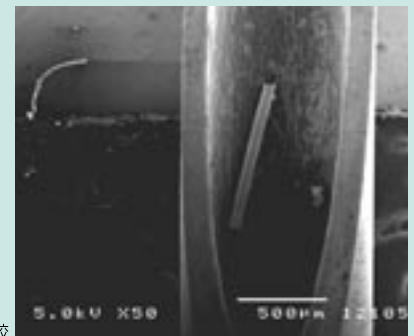
我々は、そんな医療検査ロボットの開発を行っています。特に、生体内医療マイクロマシンと呼ばれるロボットは、「機能・知能を持った材料」や「生体にやさしい材料」で創られ、生体内を自由自在に動き回り、病気を未然に防ぐことが可能となります。将来は病院に行く必要がな

くなるかもしれません。

ナノテクノロジーは、このような開発を通して、精密機械の基盤技術として医療機械などのモノづくりを支えています。精密工学科では、「マイクロ・ナノテクノロジー」とともに、半導体製造に欠かせない「アドバンスプロセス」、ヒトとの協調を目的とした「ロボット・メカトロニクス」を学ぶことができる学科です。

従いまして上記基礎科目を修得後、“蚊の吸血機構”を模倣した極少量の自動採血により予防医療に利用できる医用電子機器の開発や、ナノテクノロジーを用いて雌蚊と同等の寸法の痛みのな

い注射針の開発、さらにはヒトの体内で動作するマイクロマシンの開発など、卒業研究を通して、専門性を高めるカリキュラムを構成しています。



(SEM)市販の針とチタン針の比較

お知らせ

東海大学進学相談会 1月14日(土)

進路について考えよう 対象: 高校2年生 生徒・保護者

東海大学の教職員を本校に迎え、各学部・学科の特色を説明していただきます。
学部・学科ごとの説明会です。

英検 1月21日(土)

今年度最後の英検です。ベストを尽くしましょう。

中等部吹奏楽部 第3回定期演奏会

日時: 1月28日(土) 17:30 開場 18:00 開演

場所: 大田区民プラザ(東急多摩川線「下丸子駅」の目の前)

1年間の集大成として部員一同頑張りますので、ぜひ聴きにいらしてください。

行事予定

January | 月

February 2月

- 5日(木) HTIC中期留学[SHIP](~2/25)
- 6日(金) 新春懇親会
- 10日(火) 朝礼[正制服着用] 短縮授業
- 14日(土) **進学相談会(高2)**
- 17日(火) 校医相談日
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング
- 19日(木) **学年集会(中2) 学年集会(高2)**
- 20日(金) 中等部入学試験願書受付開始(第1回~1/31、第2回~2/2)
- 21日(土) 中1・2英語検定(中3・高校希望者)
- 22日(日) 高校推薦入学試験
- 23日(月) 高校推薦入学試験合否発表 **振替休日**
- 24日(火) 高校推薦入学試験手続き 月曜日の授業
- 25日(水) 高校一般入学試験願書受付(~1/31)
- 26日(木) 生徒による授業評価アンケート **学年集会(高3)**
- 27日(金) 漢字検定(希望者)
- 28日(土) **スポーツ大会(高1、アリーナ)**
- 31日(火) 特別講座終了(高3)

- 1日(水) 中等部第1回入学試験 **生徒自宅学習日**
- 2日(木) 中等部第1回入学試験合否発表 平常授業
- 3日(金) 中等部第2回入学試験 **生徒自宅学習日**
- 4日(土) 中等部第2回入学試験合否発表
- 7日(火) 中等部3年卒業試験(~9日)
高校1・2年基礎力判定テスト(5教科)
- 9日(木) 金曜日の授業
- 10日(金) 高校一般入学試験
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 11日(土) 高校一般入学試験合否発表
- 13日(月) 朝礼[正制服着用]
短縮授業
答案返却(中3)
- 14日(火) **ニュージーランド海外英語研修旅行(中3、~23日)**
- 24日(金) **振替休日(中3)**
登校日(高3)

放課後の風景



グラウンドへの出発



ダンスの準備体操



キャットウォークでランニング



SSH課題実験

編集後記

謹賀新年。元旦に配達される年賀状で、久しく会っていない友人や知人の消息を確かめ合うという方は、おそらく40代以上であろう。昨年の暮れ、教室で聞いてみると、自分から年賀状を出すという生徒は半分にも満たなかった。やはり「あけおめメール」派が圧倒的である。いずれにせよ、正月が人と人のつながりを確かめ合う機会であることに違いはない。昨年の大震災以降、「絆」の大切さを実感する人びとが増えているという。「絆」を確かめ合うだけでなく、今年は新たな「絆」をつくる年にしたい。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>